



## 第1章 お金の払い方って、こんなにあるの! ? ~多様化する支払い方法

## 映像の流れとポイント

チャプター	時間	映像の流れ	映像の背景とポイント	
① ミニ ドラマ	5:53		社会人1年目の兄のひさしのアパートで、高額な商品を見つけて驚く高校生の真由。	
			ひさはしは真由にクレジットカード3枚を見せ、それぞれの利便性や特典を自慢する。	令和元年度末の国内のクレジットカード発行枚数は2億9000万枚、一人当たり2.8枚のカードを所有しています。
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚目は、交通系電子マネーにオートチャージできるカード。</li> <li>・2枚目は、通販サイトでポイント3倍になるカード。</li> <li>・3枚目は、スマホ代の支払いでポイントがつくカード。</li> </ul>	電子マネーの残高が一定額以下になると、自動的にチャージが行なわれる仕組みを「オートチャージ」と呼びます。
			ひさはしは真由に「成人すれば、自分でカードを作れる」と伝える。	令和4年4月に成年年齢が18歳に引き下げられます。成人すると、親の同意がなくても、自分の意思でクレジットカードが作れるようになります。
			マスコットのパピ君が、ひさしのお金の使い方について、注意するため、「ひさしの未来の姿」を見せる。	
			半年後、ひさはしは、銀行口座の残高が足りず、引き落としができないとのメールを受け取る。	カード会社によって支払日が異なるため、複数のカードを持つと口座の残高管理が難しくなります。
			ひさはしは、スマホでクレジットカードのWEB明細を確認し、18万円の請求額に驚く。	ペーパーレス化が進み、紙の明細発行が減っているため、自分でサイトにログインしてWeb明細を確認する必要があります。
			ほぼ全ての生活費をキャッシュレス決済で支払っている未来のひさはし。カードで何を買ったのか思い出せない。	経済産業省が策定した「キャッシュレス・ビジョン」では、令和7年までにキャッシュレス決済で支払う金額の比率を4割程度に、将来的には8割を目指すことがうたわれています。
			毎月使える金額や支払いのタイミングを考えていなかったことを、パピ君に指摘される。	近年、家賃や水道光熱費、日常の生活必需品などもカードで支払うケースが増加しています。

チャプター	時間	映像の流れ	映像の背景とポイント	
① ミニ ドラマ	(5:53)	 <p>未来のひさしのお金の使い方1</p>	<p><b>未来のひさしのお金の使い方1</b></p> <p>カード式電子マネーを使って、コンビニで買い物をする。</p>	この決済場面は、あらかじめ現金をチャージして使う交通系や流通系のカード式電子マネーの使用を想定しています。
		 <p>未来のひさしのお金の使い方2</p>	<p><b>未来のひさしのお金の使い方2</b></p> <p>クレジットカードを使って、ネット通販でエレキベースを買う。</p>	この決済場面は、クレジットカードの一括払いを選択しています。
		 <p>未来のひさしのお金の使い方3</p>	<p><b>未来のひさしのお金の使い方3</b></p> <p>クレジットカードを使って、店舗で自転車を買う。</p>	この決済場面は、クレジットカードのリボ払いを選択しています。
		 <p>未来のひさしのお金の使い方4</p>	<p><b>未来のひさしのお金の使い方4</b></p> <p>事前にクレジットカードでオートチャージモバイル電子マネーを使って、飲食店で食事をする。</p>	この決済場面は、クレジットカードと連携してオートチャージ設定をした交通系や流通系のモバイル電子マネーの使用を想定しています。
② 解説	3:36	 <p>フリップ1</p> <p>「キャッシュレス決済 支払いのタイミング」</p>	<p>民間の調査では、高校生の約半数が買い物をするときにキャッシュレス決済を利用しているという結果が出ています。</p> <p><b>解説1</b> キャッシュレス決済とは</p>	
		 <p>フリップ2</p> <p>「クレジットカードの仕組み(三者間契約)」</p>	<p>クレジットは「信用」に基づいた取引です。</p> <p><b>解説2</b> クレジットカードの信用調査(審査)</p> <p>支払いを遅延するとさまざまなペナルティが発生します。</p> <p><b>解説3</b> クレジットカードの支払い遅延とペナルティ</p>	
		 <p>フリップ3</p> <p>「クレジットカードの支払い方法」</p>	<p>一括払いは手数料が発生しませんが、分割払いとリボルビング払いは手数料が発生します。</p> <p><b>解説4</b> クレジットカードの支払い方法と手数料</p>	
		 <p>フリップ4</p> <p>「分割払いとリボルビング払いの違い」</p>	<p>リボルビング払いを多用し、支払いが困難になるケースが増加しています。</p> <p><b>解説5</b> リボルビング払いの注意点</p>	
③ まとめ	1:25	 <p>テロップ</p> <p>「キャッシュレス決済の注意点」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済を使う時と、支払い時期が違う場合があることを意識する。</li> <li>・後払いは、手数料の有無、支払い総額、支払い期間を必ず確認する。</li> <li>・お金を使った感覚が薄いので、使い過ぎに注意する。</li> </ul>	

## 解説 1 キャッシュレス決済とは

「キャッシュレス決済」とは、「物理的な現金（紙幣・硬貨等）ではなくデジタル化された価値の移転を活動できる状態（＝キャッシュレス）」の決済手段と定義（※1）されています。

民間の調査では、高校生でも、およそ 50% の生徒が買い物をするときにキャッシュレス決済を利用しているという結果が出ています。主な使用場面・方法はコンビニでの電子マネー決済、QR コード決済（※2）です。

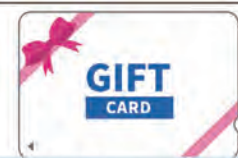
※1 「キャッシュレス・ロードマップ 2020」一般社団法人 キャッシュレス推進協議会

※2 「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## キャッシュレス決済の分類

キャッシュレス決済は、①利用形態と ②支払いのタイミングにより、下図のように分類されます。

### ①利用形態による分類

<p>カードによる決済</p>	 <p><b>GIFT CARD</b></p> <p>磁気型プリペイドカード (図書カード、QUOカードなど)</p>	 <p><b>CREDIT CARD</b></p> <p>0000 0123 1098 7654</p> <p>05/25</p> <p>AMANO HISASI CARD</p> <p>接触型ICカード (クレジットカード、デビットカードなど)</p>	 <p><b>E-MONEY</b></p> <p>非接触型ICカード(タッチ決済) (Suicaなど交通系プリペイドカード、nanacoなど流通系プリペイドカード)</p>
<p>スマホによる決済</p>	 <p>非接触型(タッチ決済) (モバイルSuica、Apple Pay、Google Payなど)</p>		 <p>QR/バーコード型 (Paypay、LINE Payなど)</p>

### ②支払いのタイミングによる分類

<p>前払い</p>	 <p><b>GIFT CARD</b></p> <p>磁気型プリペイドカード (図書カード、QUOカードなど)</p>	 <p><b>E-MONEY</b></p> <p>非接触型ICカード(タッチ決済) (Suicaなど交通系プリペイドカード、nanacoなど流通系プリペイドカード)</p>	<p>スマホによる決済(※3)</p>  <p>非接触型(タッチ決済) (モバイルSuica、Apple Pay、Google Payなど)</p>  <p>QR/バーコード型 (Paypay、LINE Payなど)</p>
<p>即時払い</p>	 <p><b>DEBIT CARD</b></p> <p>0000 0000 0000 0000</p> <p>05/25</p> <p>AMANO HISASI CARD</p> <p>デビットカード</p>		
<p>後払い</p>	 <p><b>CREDIT CARD</b></p> <p>0000 0123 1098 7654</p> <p>05/25</p> <p>AMANO HISASI CARD</p> <p>クレジットカード</p>		

※3 スマホによる決済は、支払いのタイミングが複雑です。例えば「〇〇ペイ」といった名称で知られる QR コード決済は、あらかじめチャージされた電子マネー、銀行口座、クレジットカードなどからお金が支払われるものです。従って、同じ「〇〇ペイ」でも、選んだ設定により支払いのタイミングが異なることとなります。お金をチャージして利用していた「〇〇ペイ」を、クレジットカードと連携させると、これまで「前払い」であったものが「後払い」になります。

## コラム

## 高校生も利用できる「後払い」サービス

このところ注目を集めている決済手段に、クレジットカードを使わず未成年でも利用できる「後払い」サービスがあります。

「立て替え払い型の後払い決済サービス」（「ツケ払い」など）は、インターネット通販で主に利用され、消費者・販売店・後払い決済サービス事業者の三者間の契約関係で行われるものです。消費者は、支払期日（長くても2カ月以内）までに、コンビニや銀行などから後払い決済サービス事業者へ代金を支払う必要があります。未成年者は法定代理人の同意を得なければいけないという利用規約になっていても、実際に親権者等に確認はなされないことがほとんどです。割賦販売法や資金決済法の適用はなく、過剰与信防止などは事業者の自主的な取り組みに任されて

います。消費生活センターには未成年者が親の承諾なく後払いで商品を購入したといった相談が寄せられており、注意が必要です。

「キャリア決済」は、商品代金を各キャリアの携帯電話料金や通信料金とまとめて、後で支払う決済サービスです。各事業者により、契約期間や契約者、使用者の年齢などによって利用限度額が細かく設定されています。未成年でも利用可能で、18歳～19歳の場合は最大2万円程度ですが、成人になると月10万円など高額になるのが特徴です。一般的に、携帯電話料金等の支払いが滞った場合には、「キャリア決済」の利用可能額の減額や停止になるほか、遅滞日数によってはスマホ自体の利用も停止されます。



## キャッシュレス決済のメリットとデメリット

## 主なメリット

- ①現金を持ち歩く必要が無い。
- ②支払う時に手間が掛からない。
- ③履歴が残るため、家計管理に役立てることができる(P28参照)。

## 主なデメリット

- ①お金を使ったことを実感しにくい。
- ②支払いのタイミングをつかむことが難しい。
- ③個人情報(IDやパスワード)の流出や不正利用などの安全性に問題がある。

キャッシュレス決済は、使いすぎに注意するだけでなく、デメリット③に備え、スマホのセキュリティ機能や生体認証を利用したり、利用履歴を頻繁にチェックしたりするなど、安全性の管理を徹底しておくことも重要です。

## 解説 2 クレジットカードの信用調査（審査）

クレジットカード会社が消費者にカードを発行する際、発行の可否の判断や利用可能枠の設定の為、審査が行われます。審査は、主に以下の手順で行われます。

①申込書の審査	記載内容を確認し、収入の額や安定性、虚偽記載の有無等を審査する
②本人確認と契約意思の確認	契約の申込みが本人の意思に基づくものかを、電話等で確認する
③自社の利用履歴との照合	過去の取引履歴を確認する
④指定信用情報機関の利用	自社以外の支払い状況や、利用頻度、利用額などを確認する

## 解説 3 クレジットカードの支払い遅延とペナルティ

便利なクレジットカードですが、支払いを遅延した場合、以下のようなペナルティを受けることになります。

### 遅延損害金

支払い日に口座から引き落としができなかった場合、支払い日の翌日から支払いが完了した日までの期間に発生する利息「遅延損害金」が発生します。遅延損害金の計算方法はクレジット会社によって異なります。詳しい計算方法などは契約書に記載されています。

### 期限の利益の喪失

クレジットを利用することで、私たちは契約に定められた日まで支払いをしなくてもよいという利益「期限の利益」を得ています。しかし、支払いの遅滞の程度が著しくなると、この利益を失い、クレジット会社に残金を一括して支払わなくてはならなくなります。

### 商品の引き上げ・強制執行



クレジットで購入した商品の所有権は、支払いが終わるまではクレジット会社にあります（「所有権留保」）。そのため期限の利益を喪失した場合、クレジット会社は所有権に基づいて該当の商品を引き上げることができます。引き上げられた商品は相応の価値で換金され、清算に充当されます。またクレジット会社が債権者として裁判所に訴え、債務者の財産を差し押さえることもあります（「強制執行」）。その場合、差し押さえられる対象はクレジットで購入した商品だけでなく、法律の制限の範囲で給料や預金、有価証券や不動産など、広い範囲が対象になります。

支払遅延で被るのは経済的なペナルティだけではありません。支払いを遅滞した事実は、指定信用情報機関に登録されることとなります。各クレジット会社は、指定信用情報機関から提供される信用情報を審査に利用するため、利用したいときにクレジットやローンが利用できないといった不利益を被る可能性があります（P20 第二章 解説 3 参照）。

## コラム

## 学生カードの場合はどうなるの？

大学生・短大生・専門学校生（認定）であれば、未成年でも申込みができるクレジットカード「学生カード」を発行している会社は多く存在します。カード会社により異なりますが、「学生カード」には一般的に①年会費無料、②ポイント還元率が高い、③海外旅行保険の自動付帯といったサービスを受けることができるメリットがあります。

「学生カード」の利用可能限度額は10~30万円と低く設定され、多くの場合キャッシング枠は設定されていませんが、使いすぎのリスクがあります。リボ払いへの変更も可能なものもあり、支

払い計画をきちんと立てる必要があります。未成年であっても返済が遅れると指定信用情報機関に登録されることには変わりなく、こうした情報が、金融機関などへの就職活動や新たな奨学金の申込みの際に影響しないとも限りません。

各クレジットカード会社はさまざまな若者向けカードを提供し、ポイント還元などのキャンペーンを行っていますが、クレジットカードを持つメリットとデメリットをきちんと理解し、必要かどうか判断することが大切です。

## 解説 4 クレジットカードの支払い方法と手数料

クレジットカードには、いろいろな「後払い」の方法があります。各支払い方法のメリット、デメリットをよく理解してから利用することが大切です。

支払い方法		メリット	デメリット
翌月一括払い	翌月に一括して支払う方法。決済のタイミングやクレジット会社の締め切り日の関係で、支払いが翌々月になる場合もある。	ほぼ1カ月後に支払いが終わり、手数料も掛からない。	支払いが猶予される期間が1ヶ月程度と短い。
ボーナス一括払い	次のボーナス期(通常12月か1月、7月か8月)に一括で支払う方法。	一般的に手数料が掛からない。最大で約6カ月、支払いを猶予することができる。	ボーナスの支給額が減った場合、支払いが難しくなる。
分割払い	購入時に支払回数を決めて支払う方法。	一括払いより月の支払い額を少なくすることができる。	手数料が掛かる(P12参照)。支払い終わる前に、新たに分割払いで購入すると、支払いが重なり月々の支払い額が高くなる。
リボルビング払い (詳細はP13参照)	あらかじめ設定した金額を、支払っていく方法。	支払い終わる前に、新たにリボルビング払いで購入しても、月々の支払いがほぼ一定である。	手数料が掛かる(P12参照)。支払い終わる前に、新たにリボルビング払いで購入すると、支払い期間が延び、手数料が増えていく。

## 利用する前に確認しておきたい「手数料」と「支払い総額」

分割払いやリボルビング払いには手数料が掛かります。この手数料は「実質年率」で表示するよう、法律で定められています。手数料は、カード会社や支払方法、支払回数などにより異なりますので事前に比較検討し、支払い総額と合わせて把握しておくといでしょう。

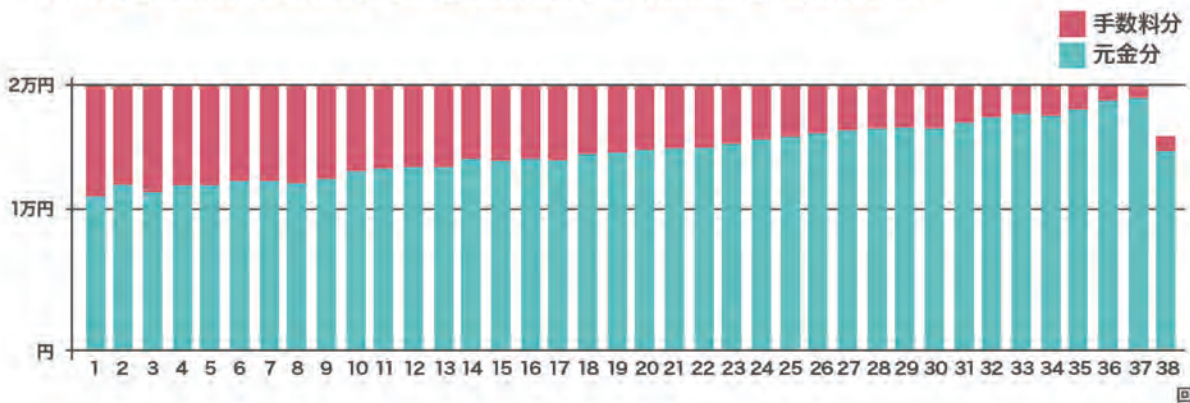
### 支払い方法と手数料の例

支払い方法	翌月一括払い	ボーナス一括払い	分割払い							リボ払い
			2回	3回	6回	12回	15回	18回	24回	
実質年率(%)	なし	なし	なし	12.00	13.25	14.50	14.75	14.75	14.75	15.00

- ・ 上記は一例であり、カード会社等により支払い回数・手数料率は異なります。
- ・ ボーナス併用分割払いは、実質年率が異なる場合があります。
- ・ 分割払いは、2回までは手数料が掛からないことがほとんどです。

上記の実質年率(15%)を用い、60万円の買い物を毎月2万円のリボルビング払い(元利定額)で支払った場合の支払総額は75万6385円、支払期間は38回(3年2ヶ月)になります。分割払いやリボルビング払いを利用する場合は、毎月の支払金額だけでは無く、支払総額を必ず確認しましょう。Web上で手数料をシミュレーションできるサイト等(※4)を活用すると良いでしょう。

### 利用代金60万円/毎月の支払い額2万円の場合(元利定額・年利15%)



支払い期間38回  
(3年2ヶ月)

支払い総額 75万6385円  
元金 60万円  
手数料 15万6385円

HP「東京くらしWEB」によるシミュレーション

※4

日本クレジット協会HP「手数料計算(支払い総額)のシミュレーション」

<https://www.j-credit.or.jp/customer/basis/commission.html>



HP「東京くらしWEB」リボ払いの手数料計算シミュレーション

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/center/kyoiku/web/kou03/contents/revo.html>



## 解説 5 リボルビング払いの注意点

「リボルビング払い」(以後、リボ払い)は、クレジットカードの利用金額や利用件数に関わらず、あらかじめ設定した金額を月々支払う方法です。購入時に店頭で選択するほか、決済後にカード会社のサイトなどで申し込むことで、一括払いなどからの変更も可能です。また、クレジットカードの支払いがすべて自動的にリボ払いになる設定や、リボ払い専用のクレジットカードもあります。

リボ払いのメリットは、出費が重なっても月の支払金額は変わらない点です。しかし、リボ払いは実際に使用した金額の残高がなくなるまで支払いが続く仕組みです。利用が重なれば支払残高が増え、その分支払期間が延び、手数料も増えていくことになるので注意が必要です。

### 代表的なリボ払いの方法

定額方式	毎月、あらかじめ設定した金額を支払う方法	
	元利定額方式	手数料を含めた支払金額を一定にする方式。支払残高が少なくなると、支払金額に占める元金が多くなります。今回の DVD で解説している方法です。
	元金定額方式	手数料とは別に、毎月一定の元金の支払金額を設定する方式。支払残高に応じて、手数料が上乗せされます。
残高スライド方式	支払残高に応じて、毎月の支払金額が変動する方法。「10 万円以下の支払残高の場合は毎月 5000 円」「10 万円超 50 万円以下は 1 万円」といったように、残高によって毎月の支払い元金が増減します。	
	※残高スライド方式も、「元利定額方式」と「元金定額方式」の 2 種類に分けられます。	
定率方式	支払残高に対して、一定の割合(定率)をかけて支払う方法です。定率が低いと、元金も減りにくくなり、思うように返済が進まない場合があります。	

### 「リボルビング払い」の留意点

- ①手数料が高い傾向にある  
⇒実質年率を確認し、支払総額をシミュレーションするようにしましょう。
- ②残高が把握しにくい  
⇒支払残高がある限り支払いが続くため、利用明細書などで常に支払残高を確認し、毎月の支払額を認識するようにしましょう。
- ③継続的な利用に陥りがちである  
⇒以前の利用分を完済してから利用するようにしましょう。

クレジットカード会社はリボ払いを促進するために、繰り上げ返済も可能であることを強調したり、ポイント還元のキャンペーンを行ったりしていますが、安易に利用せず、よく検討することが大切です。



## ワークシートを使用した学習指導案

**題目** キャッシュレス決済

- 目標**
- ・キャッシュレス決済の種類と支払いのタイミングを理解する。
  - ・消費者信用（販売信用）の仕組みと特徴を理解する。
  - ・決済の多様化に伴う金銭管理の重要性を理解する。

**単元** C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材
導入 5分	前時の学習を振り返り、本時のねらいを確認する。	支払い方法が多様化している現状を踏まえ、キャッシュレス決済の特性を知り、適切に管理することの大切さを示す。	<b>[DVD]</b> オープニング
展開 1 15分	チャプター①「ミニドラマ」を視聴し、様々なキャッシュレス決済の使用場面と使用方法を確認する。	キャッシュレス決済が多様化していることを意識させる。	<b>[DVD]</b> 第1章 チャプター①「ミニドラマ」
	ワークシート【1】と【2】を記入し、自分が使っているキャッシュレス決済の種類と、そのメリット・デメリットを記入する。	毎日の生活の中で、複数のキャッシュレス決済を使っていることを意識させる。	<b>[ワークシート]</b>
展開 2 25分	チャプター②「解説」を視聴し、キャッシュレス決済の概要と、クレジットカードの仕組みと特徴を理解する。	フリップの解説を聞き、理解を深めさせる。	<b>[DVD]</b> 第1章 チャプター②「解説」
	フリップ「キャッシュレス決済 支払いのタイミング」の解説を聞き、ワークシート【3】を完成させる。	キャッシュレス決済の支払いのタイミングを、自らの使用場面と結び付けた上で理解させる。	<b>[ワークシート]</b>
	フリップ「クレジットカードの仕組み」の解説を聞き、ワークシート【4】を完成させる。	クレジットカードの仕組みを知り、後払いは信用に基づいた借金であることを気付かせる。	
	フリップ「クレジットカードの支払い方法」の解説を聞き、ワークシート【5】を完成させる。	カードの支払い方法の違いによって手数料が発生することを理解させる。	
	フリップ「分割払いとリボルビング払いの違い」の解説を聞き、ワークシート【6】を完成させる。	分割払いとリボルビング払いの違いを理解させる。	
まとめ 5分	チャプター③「まとめ」を視聴し、ワークシート【7】を完成させる。	キャッシュレス決済を使用する場合の注意点を理解させる。	<b>[DVD]</b> 第1章 チャプター③「まとめ」 <b>[ワークシート]</b>

ワークシート「キャッシュレス決済」

年 組 名前

【1】 私たちの生活とキャッシュレス決済

あなたは、どんなキャッシュレス決済を使って、商品やサービスを購入していますか。

何を?	どこで?	サービスの名称	種類	1ヶ月の合計額は?
(例) 本	書店	図書カード	プリペイドカード	1000 円ほど
お菓子、ジュース	コンビニエンスストア	nanaco	プリペイドカード	2000 円ほど
文房具	ネット通販	PayPay	QRコード決済	1000 円ほど
				円ほど

【2】 キャッシュレス決済のメリットとデメリット

【1】で記入したキャッシュレス決済について、メリットとデメリットを考えましょう。

メリット	デメリット
(例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を持ち歩く必要が無い。</li> <li>・プリペイドカードは、あらかじめ決められた金額しか使えないので、お金を使い過ぎない。</li> <li>・スマホ決済は簡単で便利。</li> <li>・ポイントが溜まる。</li> </ul>	(例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・残額の管理が面倒。</li> <li>・お金が減らないから、使い過ぎてしまう。</li> <li>・使えない店がある。</li> <li>・スマホ決済は、使い過ぎると親に怒られる。</li> </ul>

【3】 キャッシュレス決済 支払いのタイミング

表を完成させ、自分が経験したことのある支払い方法に○を付けましょう。

支払いのタイミング		種類	支払い方法	経験したことある	
(前)	払い	商品・サービスの提供を受ける前にお金を支払う	プリペイドカード	事前に現金などでチャージ	○
(即時)	払い	商品・サービスの提供を受けると同時にお金を支払う	デビットカード	銀行からお金が即時に引き落とし	
(後)	払い	商品・サービスの提供を受けた後にお金を支払う	クレジットカード	銀行からお金が後で引き落とし	

【4】 クレジットカードの仕組み(三者間契約)

( )に当てはまる語句を入れましょう。

消費者がクレジットカード会社にカードを申し込むと、カード会社は消費者の(返済する意思)や(能力)、いわゆる(信用)を調査し、問題が無ければカードを発行します。消費者が買物をする時にカードを提示すると、販売店はカード会社にカードが利用可能かどうか(照会)し、(承認)後に商品を引き渡します。その後、カード会社が代金を(立替え払い)し、後日消費者がカード会社に代金を支払います。

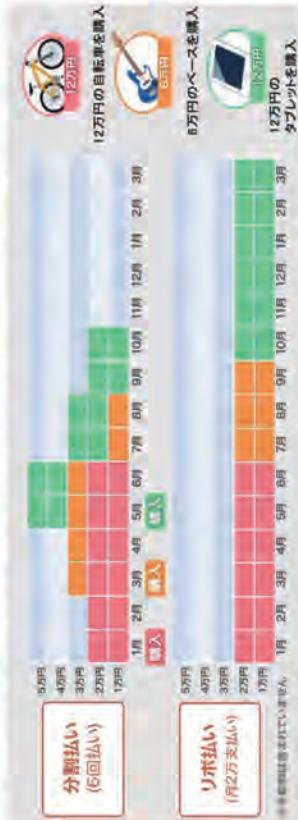
【5】 クレジットカードの支払い方法

表を完成させましょう。

支払い方法		手数料(実質年率)
(一括)払い	翌月または翌々月に(一括)で支払う。	なし
(分割)払い	購入する商品ごとに(支払い)回数を決めて支払う。	あり(12%~15%程度)
(リボ払い)	(あらかじめ設定した金額)を、利用代金の残高が無くなるまで支払う。	あり(15%程度)

【6】 分割払いとリボ払いの違い

① 映像の説明を参考に、分割払いとリボ払いの月々の支払い額を記入しましょう。



② ( )に当てはまる語句を入れましょう。

分割払いは、各商品の代金が(乗せ)される。リボ払いは毎月の支払いは(一定)だが、(支払い期間)が伸びる。伸びた分だけ(手数料)が増える。

③ 60万円をリボ払い(実質年率15%・元利定額)で月2万円ずつ支払った場合、どうなるでしょう。

支払い総額は?	手数料は?	支払い期間は?
756,385 円	156,385 円	38 回 ( 3 年 2 ヶ月 )

【7】 キャッシュレス決済の注意点

① キャッシュレス決済の注意点

- 1) キャッシュレス決済を(使う時)、(支払い時期)が違う場合があることを意識する。
- 2) 後払いは、(手数料の有無)、(支払い総額)、(支払い期間)を必ず確認する。
- 3) (お金を使った感覚が薄い)ので、使い過ぎに注意する。

② ひざのような状況に陥らない為、あなたはどんなことを注意しようと思えますか。

- (例)
- ・複数のクレジットカードを所有しない。
  - ・クレジットカードを使う場合は、利用明細を毎月確認する。
  - ・使える金額や、支払いのタイミングを考える。